

REPORT 哲ちゃんの 現場 リポート

石川県民向けのお得な 情報をお届けします!

加賀百万石回遊ルート サムライパスポート



藩政期からの文化を満喫するためのお得で便利なフリーパスです。

加賀百万石回遊ルートにある対象の文化施設12施設に1,000円で2日間何度でも入場可能。周辺商店街の一部店舗で割引や特典を受けられます。

今こそGoToななお!



おトクに七尾市を満喫しよう!

楽天トラベル、じゃらんnet、七尾市内旅行代理店を利用して、七尾市内宿泊施設を予約すると1室1泊2万円以上で1万円割引!令和4年10月31日(月)まで

和菓子＆体験チケット



金沢の伝統文化をおトクに満喫!

8つの体験メニューから1つ選んで手作り体験できます。さらに6店舗のうちから2店舗分の和菓子のお買い物券がついてきます。

旅

上記の内容について詳しくは「ほっと石川旅ねっと」内の公式HPをご覧ください。

Tetsuya Nagata Profile

1959年9月26日 金沢市生まれ。石川県立金沢二水高校、立教大学卒業。1984年北陸放送(株)アナウンサーとして入社。2019年4月7日石川県議会議員選挙で初当選。2019年8月30日自由民主党に入党。趣味はゴルフ。金沢市鶴田東在住。

自由民主党石川県議会議員協議会

所属委員会 / ●議会政策調査会
●総務企画県民委員会(副委員長)
●災害・県土強靭化対策特別委員会

Nagata ナガタ レポート 発行者 長田哲也 事務所 〒920-0348 金沢市松村1丁目7 ブラザーハイツ205号 TEL.076-208-3715 FAX.076-208-3716

少しずつですが地域のみなさんの声を実現したいと動いています!これからも声を聞かせてください。

2 移住対策の決め手 5G環境の現状と今後は?



現代社会で生きるために水並みに必要なのは通信環境。中でも最新の5G環境の整備は、データ通信のスピードアップは言うまでもなく、注目のVRや機器の遠隔操作、またウェブ会議のスムーズな進行にも欠かせない。他県に先駆けて整備を進めることによって、5G環境の整備は移住希望者獲得の重要なツールになっていくのではないか。かつて徳島県が全国に先駆けて光ファイバー整備を進め、移住希望者や企業の移転などを実現できた例もある。個人だけでなく企業本体の移転を促す力になる可能性を十分秘めている。まずは基地局設置の為、県有施設を提供するなど5G環境の整備は急務と考えるが、現状と今後の方針について問う。↗



都市部に遅れることなく全ての地域において整備されていく必要があると認識している。都市と地方の基盤整備に偏りが生じないよう、県としては5Gの環境整備を促進するため、新たに基地局を設置可能な県有施設のリストを公開とともに、通信事業者に対するワンストップ窓口を設ける。



この質問は新聞記事にも大きく掲載され注目を集めました。そして翌週には石川県のホームページにリストが公開された。

農林水産部長 森林資源の活用については、担い手の確保、育成のため、林業に興味のある方を対象とした長期就業体験、また、あすなろ塾による新規就業に必要な知識や技術の研修などを行うとともに、ドローンやICT等を活用したスマート林業の実践による林業収益力の向上に取り組んでいる。また、県産材の利用促進に向けて、今年度、県産材使用住宅への助成を拡充したほか、新たに民間施設向けの助成制度を創設した。こうした取組には、森林環境譲与税やいしかわ森林環境税等を有効に活用している。本県の市町における森林環境譲与税の執行率は約七割と、全国に比べて高い状況である。

また、県のいしかわ森林環境税についてはほぼ全額を執行している。県では市町等と連携し、ビジョンに基づいて森林の管理保全と森林資源の活用の両面で様々な取組を行っている。まずはこれらを着実に進めることが重要と考える。

3 環境経済策に欠かせない 長期的な森林管理計画は?

ロシアのウクライナ侵攻によりロシアなどの木材輸入が見込めず、ウッドショックと言われる状況になっており、長期にわたる森林管理計画が喫緊の課題となっている。今回のウッドショックを契機に、いしかわ森林環境税での取組と併せて、県内市町とも連携して、目の経済性に左右されず長期的観点で県としての独自性を持ち、県民に広く恩恵のある森林管理計画を策定し実施すべきと考える。

また、林業の担い手確保・効率化、大木の伐採・製品化、森林活用の事業拡大などについては緊急性を考慮し、コロナ対策関係支援金などのケースと同様に、緊急対策として、国の補助への上乗せや市町との協調補助、県の単独補助、森林の無償譲渡による公有地化など、思い切った施策の検討も必要ではないか。いしかわ森林環境税や森林環境譲与税の有効活用という観点も含めて問う。↗



税の有効利用のみ強調された形だが放棄された山地や森林対策をさらに追求できるように、現地調査を行いたい。

Nagata Report

公式LINE
始めました

令和4年6月7日 県議会定例会一般質問にて

1 観光の足バス・タクシー 継続的支援は?

Q 貸切バス、タクシーといった二次交通事業者について県の支援を要請してきた。ようやく光明が見えたというか重い腰が上がり、補正予算では緊急支援として、高速バス、貸切バスに対して支援金が提供された。しかし石川県内の事業者からは、隣接県では継続的な支援がされているが本県でもと要望が繰り返し出されている。事業者目線で言うと、遅きに失した感も否めない。

今回の施策がたった一度きりではないかと、大変不安が生じる。隣接県にも劣らない規模で継続的にさらなる需要喚起を図ることが必要と考えるがこの点について県の所見を問う。↗



県ではこれまで県内の交通事業者や旅行社が実施する県内の貸切バス等を活用した日帰りのモニターツアーの造成を支援し、観光資源のさらなる磨き上げに取り組んでいる。さらに県外の旅行会社による、県内の貸切バスツアーの造成の支援を新たに検討している。

今後とも、本県への観光需要を県内全域に波及させる上で重要な役割を担う県内の二次交通事業者としっかりと連携しながら、疲弊する観光産業の回復と新幹線県内全線開業の効果の最大化に向けて取り組む。県としては二次交通事業者とともに十分に意見交換し、持続可能なサービスを提供できる環境づくりをサポートする必要がある。

企画振興部長 今回の6月補正予算では原油高騰を背景に県民の日常の移動や観光を支えるタクシーや貸切バス等の機能を踏まえ、これらの事業者の事業継続を下支えするための緊急支援として、保有する車両台数に応じた支援を県独自に行いたいと考えている。

ながたの感想 昨年から今回で3回目となるバス等二次交通事業者支援への質問。新体制になってはじめて台数に応じた支援策が提示された。ただ、1回きりの支援となりそうで、観光を支える重要な産業支援は今後もさらに力を入れて頑張りたい。



令和4年6月7日 県議会定例会一般質問にて

4 CO2削減の旗手 新たな自転車交通秩序への取り組みは?

Q レンタサイクルも最近の傾向で通勤や買い物などに利用するケースが増加している。本来は旅行者向けだったが、コロナ禍で旅行者の利用が減った分、手軽な乗り捨て感覚で地元の人たちの足として活用されている。さらに自転車に電動アシストがついていて、思いのほかスピードも出る。便利さの反面、危険も伴う。また、コロナ禍で人気が出た飲食物の宅配でも自転車がフルに活用されている。時間を優先するあまり交通マナーがおざなりではとの声も少なくない。自転車対策には朝だけではなく夕方、夜間の指導など、終日の気配り、目配りが必要と思われるが、歩行者、自転車、自動車のすみ分けにはこれまでとは比べ物にならない注意が必要ではないか、県警の考えを聞く。↗

▶ 新しい生活様式における熱中症予防について◀

熱中症予防 × コロナ感染防止

暑さを避けましょう	のどが渇いていてもこまめに水分補給をしましょう
熱中症を防ぐためにマスクをはずしましょう	暑さに適応するためのマスクをつけてください
激しい運動は避けましょう	のどが渇いていてもこまめに水分補給をしましょう
エアコンを使用中もこまめに換気をしましょう	のどが渇いていてもこまめに水分補給をしましょう
暑さに備え体づくりと日頃から体温管理をしましょう	のどが渇いていてもこまめに水分補給をしましょう

警察本部長 指摘のとおり、レンタサイクルの需要増加など自転車を取り巻く環境も変化しており、県警察としては、引き続き時間帯を問わず歩行者や他の車両に対して危険性、迷惑性の高い自転車による交通違反の指導取締りを推進する。

また、県内の中学・高校生を対象とした自転車ルール・マナー検定の実施や、高校生の自主的な交通安全活動を支援する高校生交通安全フォーラムを開催するなど、交通ルール遵守に向けた広報啓発を推進している。

ながたの感想 自転車マナーに関して、子供達もさることながら、大人のマナーの徹底を強く求めていきたい。子供は親の背中を見て育つので…。